

## 食品市場に新たな価値を

### 機能性糖質のイノベーションとソリューションで創造していく林原

株式会社林原は、岡山の地で創業し 140 年を迎える。水飴のトップメーカーとして成功を取めたのち、酵素を利用したぶどう糖の大量生産に世界で初めて成功するなど、多角的かつ革新的な企業として成長してきた。現在は安場直樹社長のもと、自然由来の原材料による、自然の力を活かした素材を次々と開発し高い評価を得るなど、糖質メーカーとしての確固たる地位を築いている。

食品素材、健康食品素材、パーソナルケア、医薬品、機能性色素など、同社のすべての事業分野には、「付加価値のあるものをつくりたい」という考えが浸透している。高純度トレハロース「トレハ®」は、天然由来の甘さを控えた糖質であり、鮮度を保ち、風味を高め、食感を向上させる効果もある。

林原は、食品のみならず、医薬品や化粧品向け製品にもそのノウハウを活かし、再生医療分野では細胞やたん白質の安定化剤、ワクチンの補助剤や賦形剤の製造にも貢献している。AA2G®は、酵素の力でビタミン C にぶどう糖を結合させた製品であり、化粧品分野でより健康的で明るく若々しい肌を実現するのに役立っている。安場社長は、「私たち、林原は人々が日常的に経験している問題点を見つけ、解決策を提供し、当社のノウハウを活かして世界に向けて価値を創造していきたいと考えています。特にパーソナルケアと農業市場には多くのチャンスがあると思います。」と語る。付加価値こそ林原の研究開発部門の原動力になっている。あらゆる機能性糖質の新たな用途の綿密かつ熱心な探究、外部研究者との積極的なネットワーク形成、そして酵素本来の機能を最大限に引き出し、素材本来の機能を高め、幅広い分野での新たな用途を生み出すことで、研究開発部門は飛躍的に進歩している。

世界的な難問を解決するには力を合わせて取り組んでいくことが不可欠である。その考えの下、世界各国の市場への事業拡大は林原の優先事項のひとつとなっている。特に、ライフスタイルや文化の違いが顕著な米国は、難しいながらも同社が拡大を目指している市場である。安場社長は、熱心に次のように語る。「私は多様性を尊重しており、社内でもそれを追求しています。Prinovaをはじめとする NAGASE グループ各社と協力し、米国市場に受け入れられるユニークなソリューションを開発できたのは、優れた精神と優れたアイデアが揃ったからです。それこそが、拡大に必要なエネルギーです。つまり、持続的な成長には、多様性と柔軟性が必要だと言えます。」

安場 直樹

代表取締役社長

ユニークなバイオテクノロジーですべての人へウェルビーイングを



食品技術  
食品システムソリューション

パーソナルケアと医薬品素材



GOLD  
2022  
ecovadis  
Sustainability  
Rating

林原は、サステナビリティ調査で「ゴールド」評価を獲得しています